

(別紙4(2))

事業所名 グループホームはぎ喜ら里

作成日: 令和 5年 4月 14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	コロナ禍で約3年間活動制限のあるなかでの外出やイベントを行っていたが、コロナ明けで再び活動再開、拡大するのに向けて準備や環境整備が必要である。	コロナが収束し、活動制限が緩和されてからも、感染症対策をしつつ、安心、安全面に最大限注意を払いながら、イベントや外出レク等を行っていく。ご利用者とご家族が、今後も適度に関わりを持ってもらえるような支援、環境づくりを施設として行っていきたい。	利用者様との日々の会話や言動などから、本人の気持ちや思いを汲み取り、コロナ明けで本人がやってみたい希望を聞き出し、ケース記録や申し送り等でスタッフ同士で共有し、イベント等の実施、ケアプランに反映していく。面会制限を一部緩和しながら適宜家族に連絡を取り、面会しやすい環境を作っていく。	12ヶ月
2	33	オープン直後に比べ、施設利用者の平均介護度が上昇してきている。重度化する方や、最終的に看取りまで希望するご家族様も多数おられ、終末期の対応にスタッフからの不安の声もあり、終末期対応への支援が必要。	重度化した利用者様や看取りを迎える利用者様へ適切なケアが提供できるよう、スタッフのスキルアップを行う。	重度化や終末期を迎える利用者へのケアについて研修、学習する機会を年に2,3回設ける。本人や家族からも終末期のケアの意向を聞き出す機会を増やし、施設全体で方向性を共有する。利用者や家族らの希望する終末期ケアの実践に繋がられるようにしていく。	12ヶ月
3					12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。